

# CLOUD STORAGE LIGHT

2015年11月

## 設定ひとつで全てのファイルをパスワード保護

Cloud Storage Lightはいくつものデータを保護する仕組みを用意しています。通信の暗号化・データの暗号化に加え、ダウンロード時にパスワードを付与する自動パスワード設定機能が用意されています。自動パスワード設定機能を利用すると、パスワードを付け忘れる心配がありません。

## 既存の社内ファイルサーバもクラウドから利用

Cloud Storage Lightは自身のクラウドストレージの機能にさまざまなストレージを統合することができます。Azure Blob以外にファイルサーバー（FTP）やSharePoint上のファイル、OneDriveを統合して1つのストレージに見せることができます。この機能を使うと、社内ファイルサーバーをクラウド上のストレージに保存せずにクラウド上に社内ファイルサーバーのファイルを公開することができます。しかも、Cloud Storage Lightがもつ全文検索やアクセス権設定の機能が使えます。

## 使い慣れたエクスプローラで簡単操作

Cloud Storage Lightはブラウザ経由で利用するUI（ユーザインタフェース）を提供しています。PCはもちろん、スマートフォンやタブレットでも使いやすいインタフェースになっています。さらに、PC上では使い慣れたファイルエクスプローラ風のネイティブアプリケーションが用意されており、ダウンロードやアップロードをすることなく直接ファイルの操作が簡単にできます。

Cloud Storage Lightはクラウド型ストレージアプリケーションです。企業で利用するために必要なアクセス権管理、全文検索機能、履歴機能はもちろん、他のクラウドストレージには無い便利な機能が用意されています

- Cloud Storage Light チーム

### 安心

パスワード自動設定機能  
RMSコンテンツ保護

暗号化  
ファイル・通信

多要素認証

ユーザ・グループ  
権限管理

ファイルアクセスの記録

### 便利

ストレージハブ機能  
(Azure、SharePoint、FTP、OneDrive...)

マルチバージョン機能

全文検索

SharePoint連携

マルチデバイス  
(Windows・Web・モバイル対応)

### 簡単

エクスプローラ機能

ダブルクリック起動

編集ロック機能

キャッシュ機能・差分更新

オフライン機能

### 独自機能

- パスワード自動設定
- ストレージハブ機能
- エクスプローラ機能

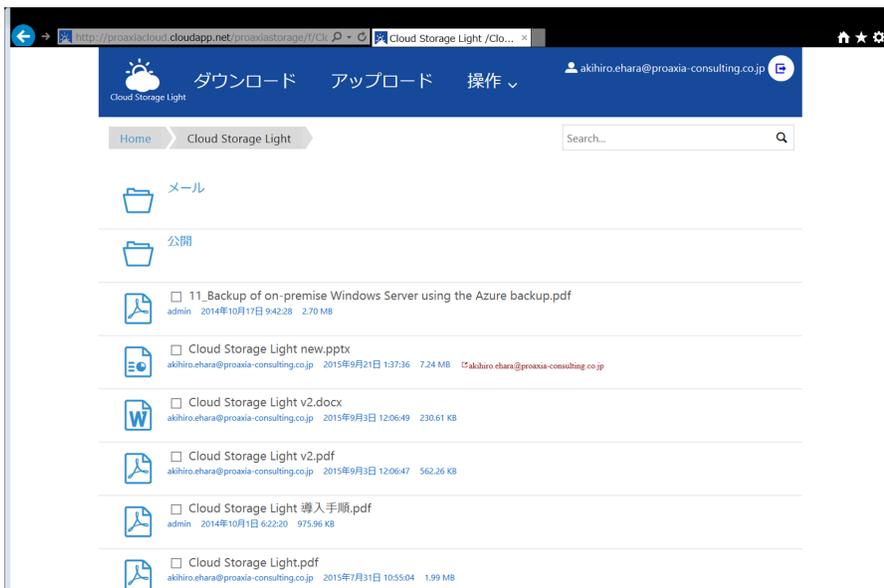
<https://www.cloudstoragelight.com>

(無料トライアル)

## ファイル共有

Windowsで慣れ親しんだ階層型のフォルダに対してファイルをダウンロードやアップロードを行えます。

複数のファイルを同時にアップロードやダウンロードすること可能です。また、ファイルを編集する際のロック機能を利用すると複数の利用者で編集する際に誤って古いファイルで上書きすることを防げます。



## 基本機能

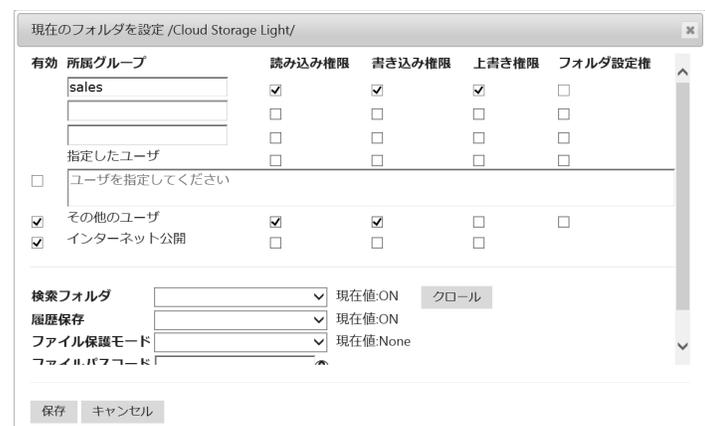
- ファイル共有
- ユーザ認証とアクセス制御
- 全文検索
- 履歴

## ユーザ認証とアクセス制御、IPアドレス制限

ファイルにアクセスするためには利用者はログインする必要があります。利用者の権限に応じてどのフォルダにアクセス可能か設定することができます。また、ユーザをグループ化することで、組織単位やプロジェクト単位にアクセス制御することができます。また、特定のIPアドレスからのみアクセス可能に制限することができます。

## インターネット公開

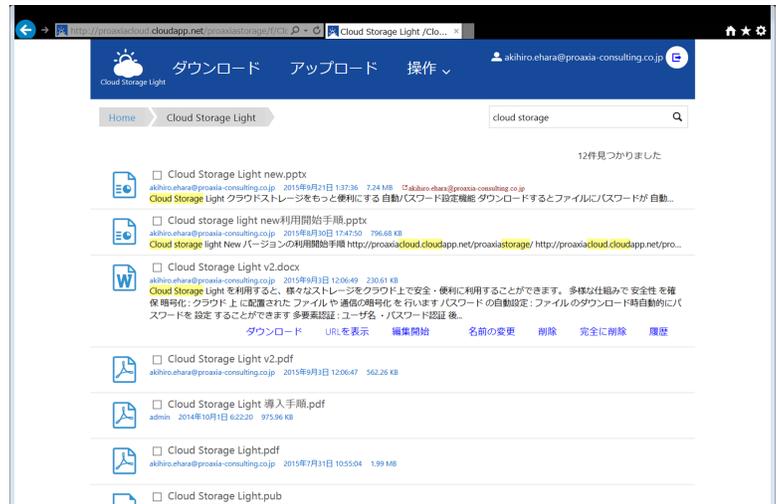
アクセス権のインターネット公開を有効にするとインターネット上にファイルを共有することが可能になります。インターネット上のユーザに情報を公開したい場合に利用することができます。もちろんゲストユーザに対しても、アクセス時にパスワードを入力を求めるなどの保護も可能です。また、この機能を一括して禁止することも可能で、不要であれば利用そのものも禁止することもできます。



## 全文検索・履歴

Cloud Storage Lightでは保存されたファイルをキーワードで検索できます。保存されたファイルのテキスト情報を抽出して全文検索エンジンに登録しています。テキスト情報の抽出にはWindows Serverで利用される iFilter 機能を利用しているため、CADなどの様々なドキュメントを対象に拡張することができます。

また、誤って上書きや削除した際に、過去のバージョンを取り出すことができる履歴機能が用意されています。



## 自動パスワード設定機能・RMSコンテンツ保護

ファイルを保護するためにダウンロードしたファイルに自動的にパスワードを設定します。Office文書の場合、Office文書自体にパスワードを設定し、それ以外はパスワード付のZIP形式にしてダウンロードされます。パスワードはフォルダ毎に指定可能です。さらに、共通パスワード以外に個人ユーザのパスワードで暗号化することも可能で、パスワードを共有せずに運用することができます。

さらにMicrosoft社のRMSに対応しており、ダウンロード時にコンテンツ保護をかけることができます。この仕組みを利用するとパスワードを利用することなくコンテンツの保護が行え、たとえ社外にファイルが流出しても保護することができます。

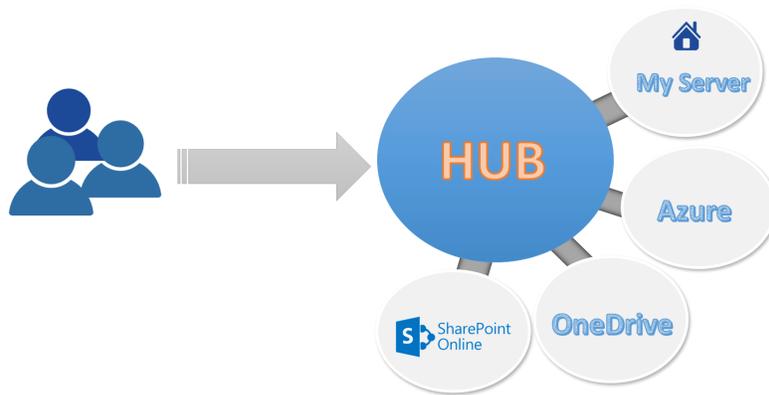
### ファイル保護

- フォルダに設定したパスワードでファイル保護
- ユーザのログインパスワードでファイル保護
- RMSで保護



## ストレージHub機能

ストレージHub機能は、既存のファイルサーバや他のクラウドストレージを統合し1つのストレージのように利用できる機能です。この機能を利用することで、わざわざクラウド上にファイルを移動させる必要がないため、簡単・直ぐに移行が可能です。また、クラウドストレージの利用を中止したい場合も簡単です。

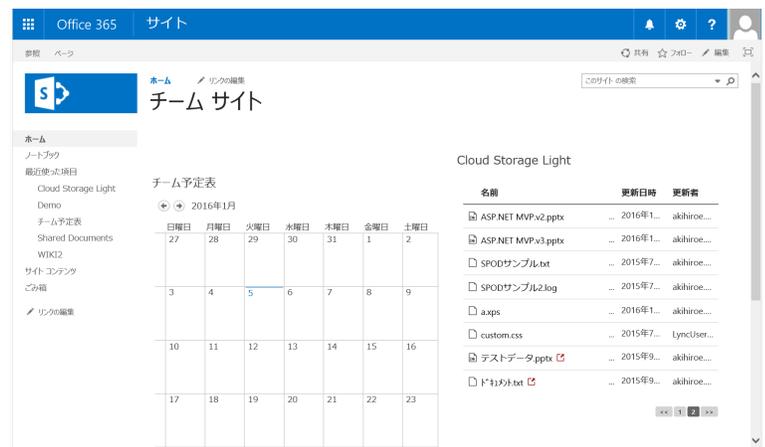


## ストレージ統合

- Azure Blob
- ファイルサーバ
- SharePoint
- OneDrive
- DropBox

## SharePoint連携

ストレージHub機能で統合可能なストレージとしてSharePointのドキュメントライブラリがありますが、さらに連携を強化したCloud Storage Light for SharePointが用意されています。SharePoint Onlineにログインすればシームレスに利用できるため、SharePoint OnlineのWebパーツから自社のファイルサーバにアクセスするなどが可能になります。



## 安心のデータ保管

クラウドは「ハードウェアが壊れることを前提」に構築されています。このためクラウドには自動的な復旧やデータの保全の仕組みが提供されています。データの保管も、特別なオプションなしで、最低3つのストレージにデータを保管されているため安心です。さらに、地理冗長ストレージ (GRS=Geo Redundant Storage)を利用すると数100キロ離れたデータセンタにも3つのコピーが保管されます。1つのデータセンタが利用不可能になっても、もう一方のデータセンタを利用して事業を継続できます。日本では、西日本と東日本で構成できます。

## エクスプローラ機能

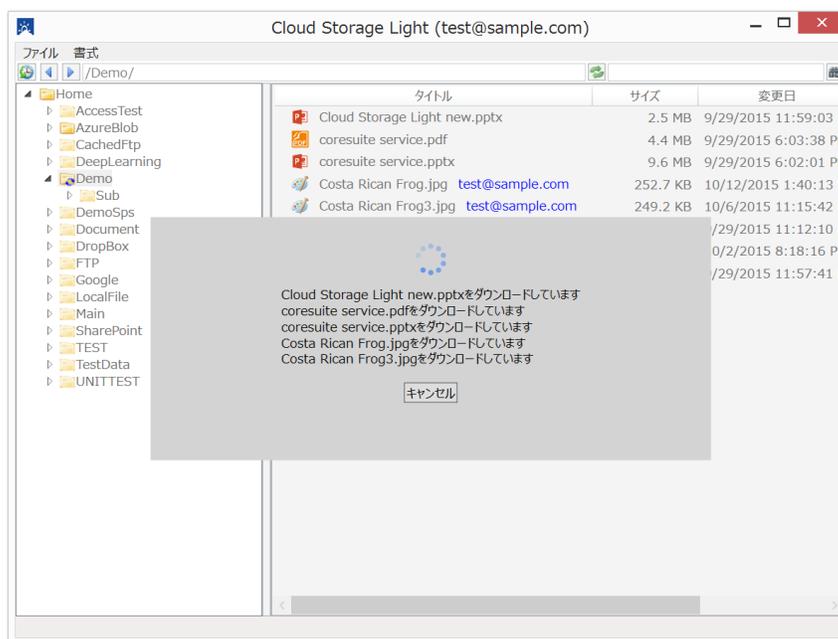
エクスプローラ機能はWindows PC上で動作するネイティブアプリです。エクスプローラ機能を利用すると

- ・直接編集しているようなファイル操作
- ・ファイルだけでなくフォルダ単位の移動をドラッグ＆ドロップで可能
- ・フォルダ単位にローカルフォルダへのバインドできる機能

オフィスで業務を行うユーザが簡単・便利に操作できます。さらに変更内容の差分をアップロード・ダウンロードする機能によって外出時に大きなファイルをやり取りする時間を短縮します。

## エクスプローラ

- ・ 直接編集
- ・ ドラッグ＆ドロップ
- ・ フォルダ単位の移動
- ・ ローカルフォルダへのマッピング
- ・ 差分アップロード・ダウンロード
- ・ 並列アップロード・ダウンロード



## 標準技術の利用

Cloud Storage Lightが採用している技術はどれもオープンで標準的なものです。これは、Cloud Storage Lightをオープンで標準的なものにしたいと考えているからです。クラウドはMicrosoft Azure、全文検索はApache lucene.net + iFilter、暗号化はZIP、Office、RMSの機能など一般的によく利用された技術を採用しています。また、APIとしてREST（OData）形式を採用しており他システムの連携も可能になっています。

## サービス価格

導入費用 1,800,000円～

## システム導入に必要なサービスとソフトウェア

**本システムを導入するためには事前にMicrosoft Azureのサブスクリプションの購入が必要です。**仮想マシンとストレージのサービス、

メール送受信のアドオン機能を利用します。これらの費用はお客様負担になります。追加で必要なソフトウェアとして、全文検索用のコンポーネントが必要です。Office用は日本マイクロソフト（株）から、PDF用はAdobe社から提供されています。いずれも無償のコンポーネントが用意されています。また、RMS機能を利用する場合は、RMS関連の設定等が必要になりますが、これらは別途お見積もりになることをあらかじめご承知おきください。

詳しい内容については窓口までお問い合わせ願います。

## お問い合わせ先

当社のサービスおよび製品の詳細についてお気軽にお問い合わせください。

プロアクシアコンサルティング株式会社  
〒530-0051  
大阪市北区太融寺町5-15  
梅田イーストビル5F

TEL 06-6949-8952

akihiro.ehara@proaxia-consulting.co.jp

Web サイトをご覧ください:  
<http://www.proaxia-consulting.co.jp/>